

令和元年5月29日号
 発行人
 共生舎 高橋慎吾

Published on 29th May, 2019
 Author
 Shingo Takahashi (Kyouseisha)



昨年、北海道150年を記念して開催した「歴史を150倍おもしろくするワークショップ」。北海道開拓に心血を注いだ先人たちの心に迫り、未来を生きるためのヒントを身につけることを目的としたこのイベントも、5月6日の開催で5回目となりました。

一方的な説明ではなく、参加される方との対話を大切にスタイルで好評をいただいておりますこのワークショップ。今回は史上最多、11名の方と一緒に、オホーツクの女傑・中川イセのものがたりをみんなで学びました。

人生のどん底から這い上がり、弱者の味方として活躍。子供さんにはちょっと刺激が強い内容もありましたが、北海道開拓にも実は光と陰があることを忘れてはならないこと、大きなことを成し遂げるには、目先のことを大切にすることも大事ですが、勇気ある決断も必要となることも教えてくれることを、彼女のストーリーから学びました。

文武両道で105歳まで全力で生きた彼女。YouTubeには90歳になった彼女が、大東流合気道の道場で元気にインタビューに答えている姿が残っています。そんな彼女に触発されたのか、ある女性の参加者さんは新たにスポーツを始めた...

そんな発見や刺激を共有できるワークショップ、次回は6月30日(日)開催予定です。詳細はまた後日!



2020年に予定されている、学習指導要領改定では、主体的で深い学びがテーマとなります。「主体的」とは、自分で考えて行動することです。

ここでいう学びは、何も机の上に限ったものではありません。知りたいと思ったことを自分から、調べたり人に尋ねたりすることで、知識が自分の力として生きてくることになります。

もちろん学力も大切ですが、いわゆる普通の学習に飽きたりウンザリしている時は、学びの目線を実社会に変えることも、よいのではないかと考えます。

そういうイベントと一緒に考えることだって、きっと机の上の学びを加速させることになるかもしれませんね。



【イベントのごあんない】

学生と社会人とが、働く目的についてフラットな立場で語り合う「ハタモク」というイベントが、北海道でも広く開催されるようになりました。

そしてこのスタディラウンジでも、そのイベントがやってきます! 「働き方改革」などがキーワードとなっているいま、社会に出る前の学生さんと、社会人と一緒に、「働く」ということの意味を考えながら、気楽に真面目に語り合ってみませんか? 【室蘭ハタモクcafe】参加自由!

【日時】2019.6.2(日) 14:00~16:00 【会場】共生舎
 【対象】どなたでも(中学生以上推奨) 【会費】無料

【客船出店】

5月は、室蘭に豪華客船が3回も来航してくれました。

初入港のクイーン・エリザベス号では、ウッドバーニングの製品コンセプトと、それを形にするため1つ1つ店長が手描き

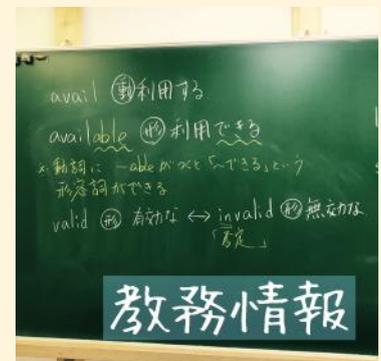


したことを説明したところ、たくさんの声援とともに、10本持参した櫛が8本もお買い求め頂きました。

わたしたちは、少しでも室蘭のファンを増やすために、作品の製作販売だけではなく、まちの元気づくりのための行動をします。皆様のお力をお貸しくださいませ...!

【ご利用状況】

- *小学生 2年生1名、5年生3名、6年生2名 計6名
- *中学生 1・2年各2名 3年5名 計9名
- *高校生 1年のみ2名
- *一般 3名 総合計18名
- ※今月1回以上(学生2回以上)のご利用を計上。



【新規受講生募集!】最近、火・水の18:00~21:30がかなり空いています。特に小6以上の学生さんを各学年若干名募集! ご紹介・ネットやラウンジだよりを見た! で入会金(5,000円)免除! 受講生さんが主役の当教室をもっと盛り上げたいです。よろしくお願いたします!!